

北播支部ニュース

2009.4発行

119号

兵庫県保険医協会北播支部
〒650-0024
神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
電話 078-393-1817

医療リスクマネジメントの確立を

医療安全管理研修会を開催

協会北播支部は、三月二十一日(土)に小野市うるおい交流館エクラで、医療安全管理研修会を開催し、二十四医療機関から六十人が参加しました。高砂市民病院看護課長の後藤元子氏が「外来での医療安全管理対策」をテーマに講演し、田淵光先生(保険医協会北播支部長)が司会をつとめました。

後藤元子氏は、「人間は間違いを起こす」という原点に立ち戻ったうえで、各医院が医療リスクマネジメントを確立することの重要性を指摘。医療事故を完全に防ぐことはできないが、医療紛争をゼロにすることは可能だとして、そのためには組織全体が医療安全対策のための取り組みを行うことが必要だと訴えた。



「次回は院内感染対策での研究会を」との声も寄せられた

その上で、高砂市民病院での取り組みを紹介。高砂市民病院では、医療安全管理委員会などの専門部を設けてヒヤリハット事例の集約と分析を行い、その結果をビデオや広報などで病院全体に啓発する取り組みを行っていることが報告された。集められたヒヤリハット事例については、「SHIELDモデル」などを採用し、様々な角度から客観的に分析を行っているという。そして実際に高砂市民病院のスタッフが企画・立案から出演まで行った医療安全のためのビデオが上映されると、会場からは笑いが起こるとともに、「うちの医院でもやってみよう」との声があがった。

また、医療事故の原因は、日常よくありがちな業務の確認不足にあるとして、特に注射の際には、注射箋と注射実施記録票の両方で、①日付け、②患者名フルネーム、③薬品名フルネーム、④容量・単位、⑤本数、⑥施行経路、⑦実施時間・回数、⑧項目を確認するシステムを導入していることなど、日々の業務について組織的に確認するための具体的な取り組みも紹介された。後藤氏は「患者を守ることに、医療機関を守ることもつながる」とし、スタッフの倫理感向上とともに、各医院が日常的かつ意識的に医療安全管理の対策を講じるべきだと強調した。

感想文より

◎とても分かりやすくお話してください。また(医療安全対策のために)高砂市民病院で職員の方が作成・出演されたVTRも楽しかった。

◎医院でありがちな問題点についており、考えさせられることが多々ありました。氏名確認、注射内容確認など、日常に気をつけている点なのですが、問診での口頭確認だけなので、改善の必要性を感じました。

◎患者の生命・安全を守ることが医療者を守り、医療機関を守ることであることが分かりました。何より患者とのコミュニケーションがとれていれば、それぞれの立場の安全を確保できると思いました。◎スタッフの人数が十分に足りていない個人医院ではなかなか対策ができていませんが、ヒヤリハット情報の共有などできることから始めていこうと思います。

◎大変有意義でした。慣れ合いになって確認を怠っている事がいかに多いか、改めて再認識しました。他部署にも医療安全管理の重要性を伝えていきたいです。◎ヒヤリハットの記入はしていても共有できていない状況だったので、明日よりスタッフみんなが注意して取り組めるようにしていきたいと思えます。

◎受付で注意しないといけない点がたくさんあり、自分にあてはまることもいっぱいあって勉強になった。◎とても分かりやすいお話で、自分の行動を振り返ると「気をつけなさいといけないな」と思うところがいくつかありました。患者さんが安心・信頼してもらえ医療を提供できるように、自分の行動一つ一つに責任を持っていかないとけないなと実感しました。

◆北播支部役員選挙の公示

北播支部支部長 田淵 光

協会役員等の選出規定(細則)3条3項及び9条2項により、北播支部役員選挙の公示を行います。

【役職と定数】

支部長 1名
副支部長 若干名
世話人 若干名

【任期】

2年

【改選日時】

6月13日(土)午後4時
北播支部第25回総会/滝寺荘

【立候補締切日】

6月6日(土)正午

【立候補届出の方法】

立候補希望者・推薦希望者は協会事務局までお申し出下さい。「立候補届」「推薦届」をお届けしますので、必要事項をご記入の上、事務局へ持参または郵送ください。

◆協会評議員・予備評議員

(医科) 選挙の公示

兵庫県保険医協会理事長 池内 春樹

協会規約12条2項及び協会役員等の選出規定(細則)3条2項、9条1項により、評議員・予備評議員(医科)選挙の公示を行います。

【役職と定数】

評議員 2名
予備評議員 4名

※任期、改選日時、立候補締切日、届出方法は役員選挙と同様です。なお、歯科については歯科部会で選出致します。

世話人会だより

【レセプトオンライン請求義務化について】

◇小野・加東市医師会でもアンケートを行ったが、3医療機関が「オンライン義務化されたら閉院する」と回答していた。

◇オンライン化は診療報酬の総枠を削減するという政治的な意図に基づくもので、明らかに医者への嫌がらせだ。

◇まだ手書きやフロッピーディスクで保険請求している医院が多く、再来年までにオンライン化しろと言っても実際には無理な話だ。義務化後に手書きでレセプト請求をしてみても認められなかったら、さらに訴訟になるだろう。

◇オンライン化というが、保険の返戻や介護保険は紙ベースでなされており、手続がかえって煩雑化するのではないか。



【その他】

◇ヒブワクチンについては医師にも患者にも情報が少なすぎる。もっと情報の開示が必要だ。

◇会員に参加いただくため、魅力ある研究会を開催するなど、支部活動を充実していこう。

◇3月に開催した「医療安全対策研究会」は参加者に大変喜ばれた。年2回の研修も義務付けられているので、引き続き開催していこう。

◆北播世話人会にご参加を◆

日時 5月20日 (水) 午後7時30分～

会場 小野市加東市医師会館

*日常診療の工夫、ホットな医療情報にもとづく意見交換ほか
ザックバランな集まりです。

支部会員の皆様の参加大歓迎!

参加のご連絡は FAX078-393-1802 山田まで

医療機関のトラブル対策

〈兵庫県保険医協会 北播支部第二十五回総会のご案内〉

〈ごじらせないための処方箋〉

●日時 六月十三日(土) 記念講演 午後二時～四時

総会・懇親会 午後四時～六時

●会場 滝寺荘 (たきじそう)

加東市上滝野二八三 電話0795-48-3223

●講師 大阪府保険医協会事務局次長 尾内 康彦氏

※懇親会参加費も無料です

医院経営にある日突然に降りかかる災難…。患者さんとのトラブルだけでなく、悪徳業者、同業者、行政窓口とのトラブル等々、その内容はさまざまで、対応も異なります。

北播支部第二十五回総会記念講演では、元暴力団組員や薬物中毒、クレイマー患者の対応、詐欺的商法への対処など、医療機関をめぐる組織犯罪の現状や危機管理体制づくり、防犯対策、クレーム対応のポイントなどを、生の事例をもとに学びます。

講師は、雑誌「日経ヘルスケア」に連載コラムを持つ「浪速のトラブルバスター」と尾内康彦氏。明日から役立つ実践知識満載です! 当講演を医院経営の安心の一助としていただければ幸いです。

皆さまの多数のご参加をお待ちしております。

会員の先生、ご家族、スタッフの皆様 多数のご参加をお待ちしております

お問い合わせは、協会事務局の石本・山田まで(TEL 078-393-1817)

